

# 小田中浄水場



第1水源（吉井川）風景

## 津山市水道局

〒708-8501 岡山県津山市山北 520 番地

TEL 0868-32-2110 FAX 0868-22-9294

e-mail : [suidou@city.tsuyama.lg.jp](mailto:suidou@city.tsuyama.lg.jp)



岡山県広域水道企業団津山第一浄水場・津山市水道局小田中浄水場案内図

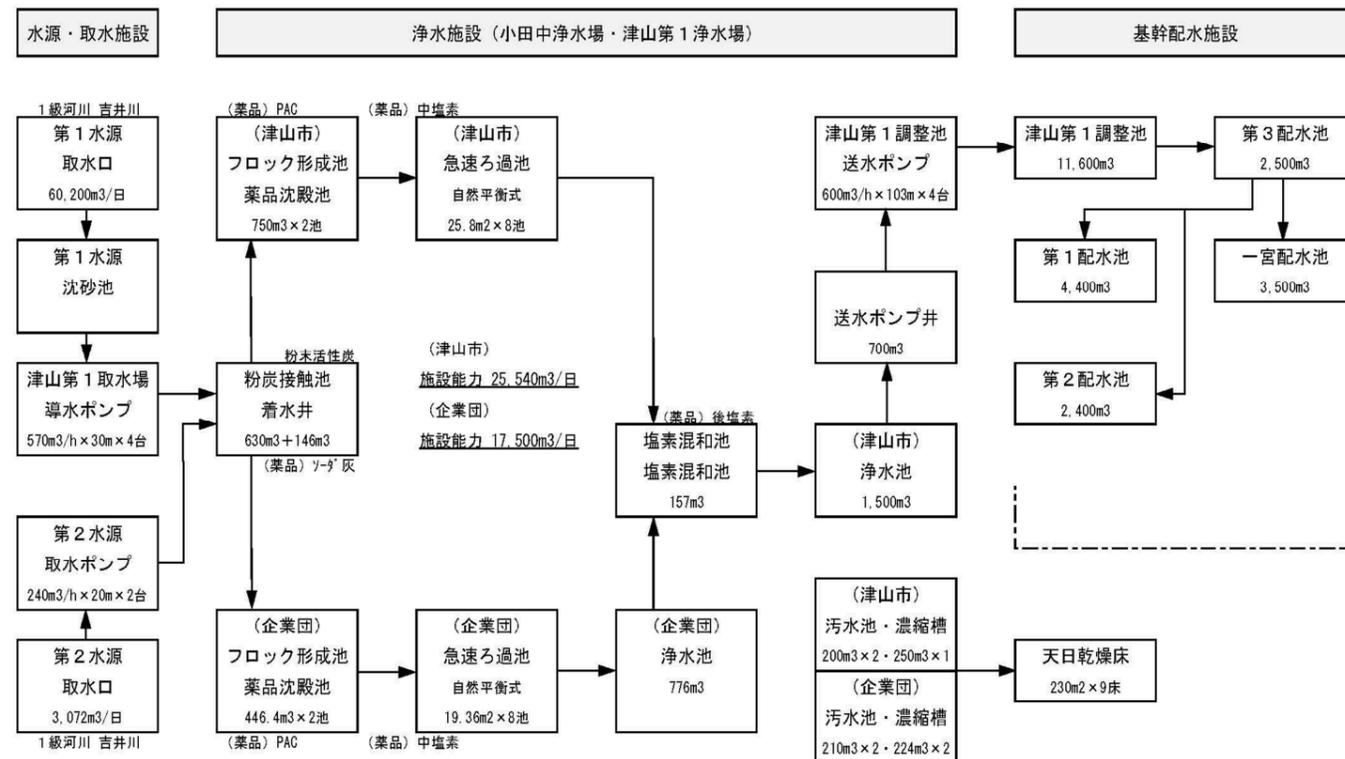
## 津山市水道局

## ◆ 小田中浄水場 沿革

津山市の水道事業は、昭和6年7月6日に計画給水人口25,000人、1日最大給水量4,000m<sup>3</sup>の創設認可を受け小田中浄水場を建設し、昭和9年12月に給水を開始しました。その後、水需要の増加や高度経済成長に伴う生活様式の変化等に対応するため、拡張事業を行ってきました。

なかでも、岡山県広域水道企業団の津山第1浄水場建設に合わせ、小田中浄水場との共同化を行い、運転管理等を津山市において実施し、一元管理を行うことで、大幅な効率化、省力化を図っています。

## ◆ 小田中浄水場（津山第1浄水場） 施設フロー



## ◆ 小田中浄水場（津山第1浄水場） 施設概要



○ 着水井 ～ 粉末活性炭処理施設  
 浄水場へ送られた原水の水量を調節するところです。ここで凝集助剤（アルカリ剤）を入れます。水温が高いときに発生しやすいカビ臭の原因となる物質を取り除くための粉末活性炭を貯蔵・注入するための施設を備えています。



○ 薬品混和池 ～ フロック形成池 ～ 薬品沈殿池  
 原水の汚れをかためて取り除くための凝集剤を入れます。凝集剤の働きでできる汚れの塊（フロックと呼びます）を大きく沈みやすいものへとしていきます。出来上がったフロックは、重さで池の底へと沈みます。溜まったフロックは、機械によって自動で排出されます。



○ 急速ろ過池  
 薬品沈殿池で取りきれなかった小さな汚れが残る処理水を、砂の層（厚さ60cm）に通してろ過し、仕上げをします。名前のとおり、1日に120m進む速さで、砂の層が水が通過していきます。ろ過により目詰まりを起こす砂の層は、約1日おきにきれいな水を使って洗浄しています。



○ 塩素混和池 ～ 浄水池  
 急速ろ過池でろ過した水を、最後に消毒するところです。消毒剤（次亜塩素酸ナトリウム）を入れ、水道水が出来上がります。水道水は塩素を残留させることで、給水栓まで消毒効果を持続します。水道水は浄水池へ一度貯めたあと、高台にある配水池へ送られ、その高さを利用して市内へと配水されます。



○ 薬品注入設備  
 浄水場で水をきれいにするための薬品を扱う施設です。原水の汚れ具合や、温度などの様々な変化に対し、常に細かく調整して使うことで、良質な処理を行っています。

### ○ 中央遠隔監視装置

浄水場や市内の配水施設にある機械の動きや水質を、コンピュータにより24時間絶え間なく監視します。異常が起きたときは、すぐにアラームが鳴ることでオペレーターへと知らされます。

